



# 信州大学 教育学部 同窓会報

信州大学教育学部同窓会報  
【第37号】  
発行人 吉澤修一  
事務局 長野市西長野6ノ口  
信州大学教育学部内  
TEL・FAX(026)238-4370



## コロナ禍後の魅力ある同窓会をめざして

同窓会長 吉澤 修一

新型コロナウイルス感染症が私たちの生活を一変させて、早三年。それまでは当たり前のこととして気に留めることもなかった事柄が、どれだけ価値のあるものだったのかを痛感させられた年月でありました。それとともに、皆で知恵を出し合って今できることを実践していこうとする私たちの底力が試された年月でもありました。

同窓会でも、昨年、通常総会を三年ぶりに開催することができました。懇親会はできませんでしたが、講演会では、花谷泰広先生から山の活用、保全、未来への継承について示唆に富んだお話を聞き取ることができました。また、事務局や会員それぞれのお立場からお声をいただき、会費が未納だった方々の賛同を得て、例年以上に会費を納入していただくことができました。コロナ禍での同窓会運営の難しさとともに、そのやりがいも感じさせていただきました。

さて、五月には新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが五類へ移行され、コロナ前の生活が戻ってまいりました。このときをどれだけ大切にわびたことでしょうか。そうは言っても、同窓会には現職の皆さんやご高齢の皆さんが大勢いらっしゃる

ます。集団感染の発生防止には、これまで同様に留意していかなくてはなりません。会員の皆さんの安全に十分配慮しつつ、会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与できるように力を注いでまいりたいと思います。

今年度は、同窓会を会員にとってより魅力あるものにすることを重点として取り組んでまいりたいと思います。そのために、会員が研究修養に励み、交流を深めることができる場となるよう、参加したくなる**通常総会**、赤煉瓦館を活用した**出かけたくなるイベント**の準備を進めております。ご期待ください。

そして、それぞれの取り組みの様子や参加していただいた方々の感想等を、同窓会ホームページや会報等で紹介してまいります。同窓会の魅力を積極的に発信しながら会費未納の方々に声がけしていくことで、今以上のご賛同をいただくことができると思うのです。

コロナ禍後の同窓会、なんだかわくわくしてきませんか？ 同窓会のさらなる発展のために精一杯務めてまいりたいと思います。お力添えを賜りますようお願いいたします。

### 第18期同窓会役員名簿

(令和3年8月～令和5年8月)

- |      |  |
|------|--|
| 名誉会長 | 村松浩幸 (令和4年4月)  |
| 顧問   | 佐野昌男 中田宣彦 三寺勝美<br>玉川隆雄 町田 修 深澤弘二<br>中澤 寛 土屋聖史 宮本伸一<br>小林 亨   |
| 会長   | 吉澤修一   |
| 副会長  | 谷口陽治 小笠原重光 宮川史枝  |
| 監事   | 原田良介 山岸千賀子   |
| 本部理事 | 中山久貴 西澤佳代 畔上一康<br>齊藤忠彦 小林比出代 茅野公穂<br>茅野理恵 酒井英樹 伊藤冬樹<br>瀧 直也 森下 孟   |
| 地区理事 | 下伊那 牧内優幸 上伊那 有賀泰司<br>諏訪 宮坂 均 木 曾 池田信三<br>北安曇 中原 敏 安曇野 麻田記良<br>松 本 山口昇一 佐 久 関 武登<br>上 小 山邊久史 更 埴 蟹澤友司<br>上水内 池上昭子<br>須坂上高井 新井孝之<br>中野下高井 黒岩徳治<br>飯山下水内 吉澤 秀<br>塩 筑 白井伸明<br>長 野 篠原謙治 加藤善彦<br>高 校 富岡 修<br>県 外 功刀道子 井出良子 |
| 幹事   | 和田 裕   |
| 事務局  | 渋谷孝信 (令和4年4月) 宮尾弘子<br>岩田 靖 桂本久美子 安達仁美<br>中村直人 新谷静香   |

第三十五回 同窓会通常総会報告

新型コロナウイルス感染症の流行により、第33回、34回の2回連続で中止になっていた通常総会ですが、3年ぶりに対面方式で開催することができました。

1. 日時・会場

令和4年8月11日(木・祝) 午前9時半開会  
ホテル信濃路「穂高」  
長野市中御所岡田町131-4

2. 出席者数

34名

3. 開会宣言

宮川 史枝 副会長  
進行・和田 裕 幹事長

4. 挨拶

吉澤 修一 会長

5. 議事

議事に先立ち、会則第16条に基づき、総会議長の互選を行う。

(1) 議長団の選出

白井伸明・篠原謙治の両理事を議長団に選出した。

(2) 議事録署名人の選出と書記の任命

中山久貴・加藤善彦の両理事を議事録署名人に選出し、安達仁美・桂本久美子の両幹事を書記に任命した。

第1号議案

令和3年度事業報告、歳入歳出及び財産目録の承認について

(1) 中村直人事務局長より資料に基づき、令和3年度事業について説明があった。

(2) 岩田靖幹事より資料に基づき、令和3年度一般会計歳入歳出決算、特別会計決算、基本財産決算並びに財産目録について説明があった。

また、原田良介監事より業務監査・財務監査の結果、適正に処理されているとの報告があった。

第2号議案

令和4年度事業計画(案)及び歳入・歳出予算(案)の承認について

(1) 中村直人事務局長より資料に基づき、令和4年度事業計画(案)についての説明があった。

(2) 岩田靖幹事より資料に基づき、令和4年度一般会計歳入歳出予算(案)についての説明があった。

原案どおり賛成多数で可決した。

第3号議案

第18期役員交代について

吉澤修一会長より、宮崎樹夫名誉会長が村松浩幸氏に、また小池勲幹事が渋谷孝信氏に交代する旨の提案があった。

原案どおり賛成多数で可決した。

6. 来賓祝辞

村松浩幸氏(教育学部学部長)のご臨席があり、祝辞をいただいた。

7. 閉会宣言

小笠原重光 副会長  
通常総会の終了後には、花谷泰広氏をお招きし記念講演会『山と向き合う、自分と向き合う』が開催されました。



村松学部長 祝辞



記念講演会 花谷泰広氏

令和3年度信州大学教育学部同窓会一般会計歳入歳出決算書

歳入合計額 4,845,755円也  
歳出合計額 4,304,849円也  
差引残額 540,906円也 翌年度へ繰越

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日

〈歳入の部〉

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 増・△減, 備考. Rows include 前年度繰越金, 会費, 運営積立金, 雑収入, and 歳入合計.

〈歳出の部〉

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 増・△減, 備考. Rows include 会議費, 事業費, 事務費, 事務委託費, 雑費, 予備費, and 歳出合計.

# ご支援への感謝と 新たな取組にチャレンジ

教育学部長 村松 浩幸



同窓会の皆様には、日頃より本学部に対して様々なご支援をいただきありがとうございます。本年度も学部252名、大学院生30名を迎え、スタートできました。現在、授業での座席数制限撤廃や、生協食堂での通常利用再開等、アフターコロナの対応を進めており、キャンパスに多くの学生が戻り、学びの姿や笑顔が多々見られるようになってきました。

学部運営では、昨年につき「教職員・学生、児童・生徒らの Well-being 実現」を目標にしています。教育・研究を充実させ、働き方改革も進める中で、本学部を構成する皆さん、さらには本同窓会をはじめ、本学部に関わる多くの皆様が「幸福」を感じ、「健康」に様々取り組んでいただける運営を実現していきます。

## 毎年のご支援に深く感謝

同窓会の皆様には、毎年、本学部・大学院に多額のご支援をいただいておりますこと、この場を借りまして、深く感謝申し上げます。ご支援は、主に通常予算での対応が難しい営繕関係で活用させていただいております。例えば、図書館、第1体育館の改修の一部に活用させていただき、大変助かりました。他にも老朽化が進む施設・設備の改修等に活用させていただいております。また、大学院では、その年度の優れた研究について表彰する研究科長賞の副賞として、受賞学生らに授与させていただいております。

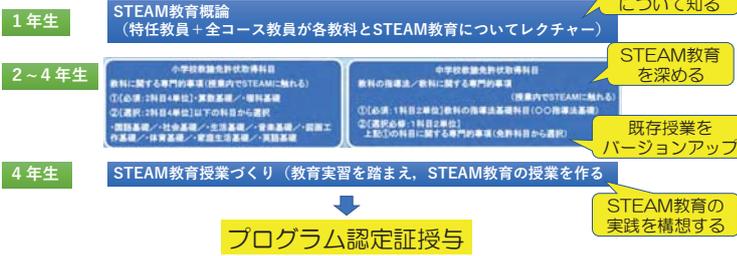
す。教育・研究の充実のために、引き続きご支援をいただければ幸いです。  
**新たな取組みにチャレンジ**

学生らの自主企画を支援する Educational Challenge に続き、今年度は、世界的に広がっている教科横断の STEAM 教育に対応すべく、全国に先駆け、全コース対象で STEAM 教育認定プログラムを立ち上げました。また、信州教育を先導してきた信濃教育会と本学部とで連携協定を締結し、教員採用試験の支援や教育研究面での連携をしていきます。伝統を大切にしつつ、時代の変化に対応した新しい取り組みを展開してまいりますので、ご協力とご支援をよろしく願います。

## STEAM教育認定プログラム

探究的な学習の指導に必要なSTEAM的な考え方や教科横断的な学びの基礎を理解し、STEAM教育の基礎的指導力を持った教員の育成を目指します。

指定科目20単位以上取得



STEAM 教育プログラムの概略図

## 学部の新転任・転退職教員の紹介

### 【令和4年~5年度新転任教員】

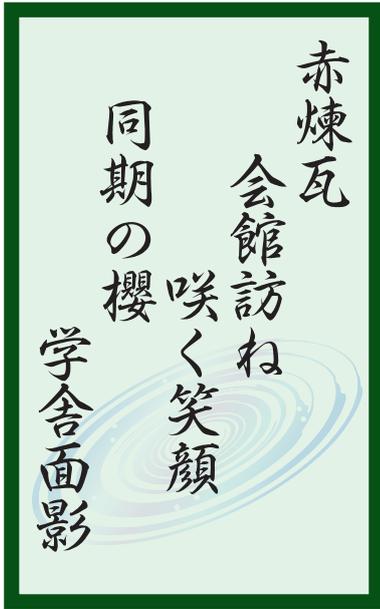
- 野口 舞子 先生(社会科学教育) 令和4年10月1日
- 沖嶋 直子 先生(家庭科教育) 令和5年4月1日
- 榎本 哲士 先生(数学教育) 令和5年4月1日
- 楠見 友輔 先生(特別支援教育) 令和5年4月1日
- 藤森 準一 先生(理科教育) 令和5年4月1日
- 大木 雄太 先生(スポーツ科学教育) 令和5年4月1日
- 宮野 尚 先生(教職大学院) 令和5年4月1日
- 尾臺 美彰 先生(教職大学院) 令和5年4月1日
- 戸谷 健史 先生(教職大学院) 令和5年4月1日

### 【令和4年度転退職教員】

- 三崎 隆 先生(理科教育) 平成19年4月1日 着任、定年退職
  - 高崎 禎子 先生(家庭科教育) 平成19年4月1日 着任、定年退職
  - 三野たまき 先生(家庭科教育) 平成14年4月1日 着任、定年退職
  - 岡田 匡史 先生(美術教育) 平成7年4月1日 着任、定年退職
  - 青木 一 先生(教職大学院) 平成27年4月1日 着任、定年退職
  - 杉山俊一郎 先生(言語教育) 令和元年10月1日 着任、退職
  - 笠原 大弘 先生(教職大学院) 令和3年4月1日 着任、退職
  - 原 洋平 先生(教職大学院) 令和2年4月1日 着任、退職
- (長野県教育委員会との人事交流)

# 同窓会館(赤煉瓦館)を訪ねて思うこと

第十二回卒業 保健体育科 望月 昭彦



長く続いたコロナ禍もようやく治まってきた令和四年の晩秋、卒業同期の仲間で長年続けてきた研修会は、仲間の年齢も傘寿の峠を越えて、この会は終盤を迎えざるをえなくなってきました。

こんな機会に、あの懐かしい信大教育学部の学舎を訪ねて見ようという気運が高まりました。そんな時、ご縁のあった岩田靖先生に、お世話になり、親切丁寧な案内をいただき、私たちのたつての希望を実現することができました。鑑みれば、いつの世も人と人とのご縁は有り難く、まか不思議なこととの思いが致します。

新装の体育館をご案内いただき、フロアーの美しさや施設の充実に感銘を受けました。そして、ここ西長野の大地に踏み立つと、私たちが六十余年前に青春時代を過ごした、あの時代のこと、木造校舎、

板壁で天井の梁材が丸見えの体育館や、授業の前後に雑巾がけをして磨いた講堂の床や、切れたままの電灯や、石段を上がった所に在った目張りガラスの研究室や、トイレの臭いや、まさにこれぞ昭和時代の香気が溢れた、あのよき時代の思い出が甦ってきました。

学生時代の脳裏に刻まれた出来事は、教室の講義よりも、野外での実習演習活動でのエピソードや、稀有な体験や、色々あった事件の愉快な話などで集会はいつも盛り上がるのが定番でした。

私たちが卒業した年、それは昭和三十九年三月、あの東京オリンピックの年で、昭和時代の象徴の年です。同期仲間での交流活動も数えて見ると、六十年有余に渡って活動を続けてきたこととなります。同窓会員のひとりとして、僭越ながら、活動の一端を紹介したいと思えます。

あの時代、新卒教員の赴任は、小規模学校の僻地の学校へ赴くことが、当然の時代でした。小さな学校で諸先輩の先生からいつも叱咤激励をいただき、そこでやっと一人前の教師になれたように思います。

授業がうまくいかず落ち込んだり、叱咤されて悩んだりしている時、同期の仲間に愚痴を聞いてもらったり、毎年の研究授業が大変で、実施した授業の指導案を交換しあって、参考にしたり、休日列車を乗り継いで、同僚の赴任した学校を訪ねたりし

て、親交を深めあった良き時代でありました。また、当時の学校には日直・宿直の制度があり、若い独身教師は代替を依頼されることが多くて大変でしたが、安い給料を補填するにはこの手当が、とても有り難い存在でした。

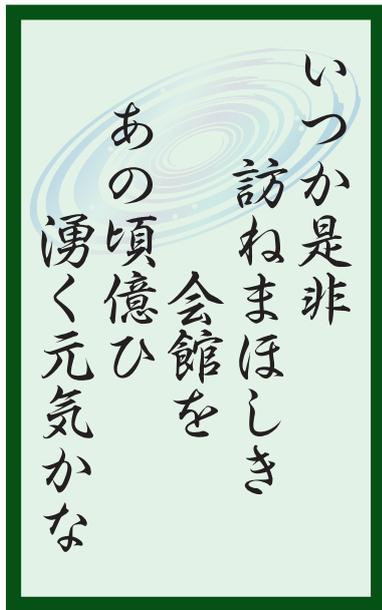
また、職員会は水曜日、学年会は金曜日で食事を取り寄せて、タバコの煙がもんとした部屋で終了時間は夜中になるのもたびたびの時代でした。

県内外、広範囲で各地の学校に散らばって赴任している仲間が、ボンコツの中古車で集まって来る時代になり、保健体育の教員免許を持った同期生は二十一名の仲間がおりましたが、いつも十五・六人は集まって来る研修会でした。北信・中信・南信・東信と当番順で各地を巡り、時には仲間随一のパワーマンの地元静岡県まで出かけて研修会をしたこともありました。

アルバムを開いて記録を紐解くと、二十二回もの研修会を実施しています。現役時代には数回、また退職してからは毎年のように集まって来る研修仲間でありました。退職後には温泉地を選んで宿泊し、地元の者が案内役で、名勝各地を騒ぎながら巡り歩きました。時にはゴルフ大会もありました。県下各地を何回歩き巡っても、長野県の大きさを実感しながら楽しみ、絆を育む愉快な研修仲間でありました。

落ち葉を踏みながら、同窓会館(赤煉瓦館)にたどり着き、大きく重厚な扉を開いていただき、入館すると、良くぞ残すべきものを、こんなに立派に残してくださったものだと思います、感慨一入でありました。

明治二十八年に建てられたもので、平成二十年に国の登録有形文化財として登録されているとのこと。二階のホールに案内していただくと、グラウンドピアノまで設置されており、演奏会も出来るこのこ



と。私たちが学生の頃のセピア色の写真もあり一段と話が盛り上がりました。一階の会議室で休憩し、記念写真を撮りましたが、木製の重厚で立派なテーブルとレトロ調で格調高い木製の椅子に座り、心地よさに自然と笑顔になりました。この価値のある建物と遺産を、再生して残してくださった諸氏のご苦労に敬意を表し、心から感謝を申し上げたく存じます。

見学が終了して、現役の学生達と一緒に学生食堂で昼食をとらせていただきました。元気ではつつとした若者達の姿を拝見するだけで、パワーを頂けるものです。未来に輝く後輩諸君の活躍にエールを贈るとともに、母校信大教育学部と同窓会の発展をご祈念申し上げます。

晩秋の穏やかな秋晴れの日に、私たちの研修のために岩田靖先生・新谷静香先生には、長時間に渡りお付き合いをしていただきましたことに心より感謝申し上げます。

今回の貴重な研修体験を振り返り、こんなに立派で、貴重な価値のある同窓会館（赤煉瓦館）を、もっと大勢の皆さんに紹介し、気軽に利用して頂くように、働きかけていきたいと思いました。



平成20年6月 別所温泉にて



令和4年11月 赤煉瓦館にて



平成15年5月 蓼科高原にて



平成24年6月 小諸市高峰高原にて

# 教育実践補助事業

## 教育実践補助事業のご案内

平成15年度より実施しています同窓会研究補助事業は、令和元年度より、名称を教育実践補助事業に改め、継続して実施しております。その概要についてお知らせします。

本事業の趣旨は、①日々の教育研究、教育実践を大切にし、自らの授業改善に努めること、②専門職としての教師自らの教育研究・教育実践を磨くこと、③教育の振興・改善についての情報を共有し合うこと、に置かれています。対象者は教育学部同窓会員（同窓会費納入者）で、応募者には、一律1万円を補助しています。

応募希望者は、所定の様式「教育実践補助願及び教育実践概要にしたがって、同窓会事務局(〒380-18544 長野市西長野6-10)にお申し込みください。できるだけ当該年度の11月末日までに申し込んでください。応募規定の詳細、応募様式等の内容は、同窓会Webサイトをご覧ください。なお、当該年度の教育実践補助はおおむね10名としております。受付可能かどうかを確認しますので、お申し込みの際には必ず事務局までお問い合わせください。

### Kojima (小嶋) Mami (美成子) no Monogatari (物語)

信州大学教育学部  
附属長野小学校

小嶋 美成子

一年生の子どもたちと季節の行事や『べっそうづくり』を進めていく中で、子どもが材を自らのものとし、自分ごととして語っていく場面がたくさんありました。子どもの発する言葉にはときめきや閃きがあり、探求するからだから情熱が溢れていました。大人になるにつれて失われてきた何かが、子どもたちとのくらしの中にあるような気がしています。

秋頃にY児が「秘密基地をつくりたい。その秘密基地で虫の観察をしたい」と言いました。その意見に皆が賛成し、特別な部屋ということから「みんなのべっそうをつくらう」と意見がまとまっていきました。それまでの池づくりや土遊びから粘土質の土からレンガがつかれるということを知っていた子どもたちは、その別荘をレンガ造りにすることにしました。土粘土という材は、様々な形に変化することができ、失敗したと思ったらまたつくりかえることもできます。土粘土は難しさと面白さを兼ね備えた追求したくなる材と言えます。



レンガやレンガでできた建造物をもっと知りたくて願う子どもたちと、教育学部にある築約130年の赤煉瓦館へ見学に行きました。実際に見て触って、その丈夫さやつくりについて、からだを通して感じていました。U児は、レンガとレンガのつなぎに注目し「何でくっついているのかな。」と指でなぞり顔を近づけてよく見ていました。M児は、どのくらい丈夫なのかを確かめようと、煉瓦館の壁を両手で押していました。びくともしない働き返しに「本当に丈夫なんだ」と感じているようでした。教育学部の齊藤先生から赤煉瓦館に関わるお話をいただいた後の質問コーナーでは、A児が「はじっこはどうなっているんですか」K児が「どうしてイギリス積みなんですか」など聞く姿がありました。それぞれの見るポイントはこだわりとなって、見学での学びを深めているようでした。大学での見学や体験を終えた子ども達は、知識も技能もパワーアップし益々「みんなのべっそう」づくりに邁進していきました。

子どもたちも私も、レンガ造りの建物を見るとつい目を奪われてしまいます。そして、それが何積みであるかをすぐに答えることができます。校庭の土を触っただけで、「この土ではレンガはつくれない」と子どもは言います。レンガ用の土粘土をボウルに入れるとどのくらいの水の量が適量であるか見当をつけることができます。レンガづくりの大変さからレンガを購入してはどうかという話題が出た際にR児は、「がんばったレンガ」でなくてはだめだ」と言いました。「がんばったレンガ」とは、まさにものが人格をもち、「わたしのレンガ」というように私ごとになり、ただの土ではない大切なものになっているということだと言えます。このように、私たちは、土粘土やレンガへの見方が大きく変わってまいりました。魅力ある材に出会い、その魅力に引き込まれているからこそ、毎日つくり続けるエネルギーが生まれるのではないかと思います。

赤煉瓦館のレンガの一部に「焼きすぎレンガ」が使われているとお聞きし、レンガを焼くと丈夫になるということに興味をもった子どもたちは、「レンガを焼いてみたい」という次の願いが生まれましました。2年生になっても引き続き子どもと共にレンガづくりやべっそうづくりを探求し、新たな発見をしていきたいです。

### 令和4年度教育実践補助交付者

氏名	勤務校・在籍校等	研究課題
1 西澤 浩	長野市立七二会小学校	お蚕様の生糸が紡ぐ総合的な学習の時間の実践
2 新井 孝之	須坂市立日野小学校	「学び」と「育ち」をつなぐ園小の接続のあり方
3 古平 恵理	信濃町立信濃小中学校	児童生徒一人ひとりが問いを発生し、仲間とともに探究しながら学びを深めていく授業づくり—ICTの効果的な活用の方法に焦点をあてて—
4 松村 忠道	長野市立松代中学校	GIGA 端末 (chromebook) を用いた意見共有—G Suite (ドキュメント) による共同編集—
5 小嶋美成子	信州大学教育学部附属長野小学校	もの (材) とのかかわりを通して物語るわたし
6 川上 明宏	上松町立上松小学校	火山としての御嶽山の火山防災教育と魅力発信
7 松本 景光	大町市立大町西小学校	低学年の「聴く・問う」から始まる対話活動を基盤とする少人数による互恵的に学ぶ「共同の学び」のあり方
8 町田 祐介	千曲市総合教育センター	GIGA スクール構想の実現に向けた ICT 活用に関する研修の充実
9 齋藤 貴寛	佐久市立白田中学校	日常生活とのつながりが感じられる授業の実践

卒業・修了生の就職状況

就職部長 山岸 明浩

教育学部の就職支援活動に対しまして、教育学部同窓会の皆様には日頃より多大なご支援を賜り、心より感謝致します。令和4年度教育学部卒業生及び大学院教育学研究科修了生の進路状況が下表のとおりになります。

学部卒業生については、進学者を除く就職率は97.63%、教員就職率は63.51%で、前年度(令和4年度)と比較すると就職率は2.35ポイント増、教員就職率は0.55ポイント減となりました。教員となった134名のうち、正規採用者は93名、臨時採用者は41名です。過去3年間の動向をみると、就職率は上昇していますが、教員就職率は低下しています。

令和6年度長野県公立学校教員採用試験の一次選考は、令和5年7月1日(土)・2日(日)に実施されます。採用数は小学校教諭225名程度、中学校教諭135名程度、養護教諭20名程度、特別支援学校55名程度、高等学校90名程度で、前年度とほぼ同じです。

教員就職率の向上を目指し、就職部会では模擬集団・個人面接の実施等を計画しています。学部では教職コーディネータによる相談、DX委員会と連携した教員採用対策 구글クラスルームを開設しています。また、信濃教育会との連携協定を締結し、教員養成講座への学生参加等のご協力を頂いています。

今後とも皆様からの忌憚のないご意見・ご要望をお寄せいただきますとともに、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度 卒業生 就職状況

Table with columns for graduation courses (e.g., Modern Education, Foreign Education, Japanese Education, English Education, Social Studies Education, Mathematics Education, Science Education, Music Education, Art Education, Physical Education, Technology Education, Home Economics Education, Special Support Education, Psychological Support Education) and employment status (In-campus, Outside-campus, Total). Rows include '教育学部' (Faculty of Education) and '教育学研究科' (Graduate School of Education).

(注) ( )は臨探で内数、○は外国人留学生で内数 9月卒業含む

就職率(学部)(進学者を除く) 97.63%
教員就職率(学部)(進学者を除く) 63.51%
教員就職率(学部)(卒業生に対する) 54.25%
令和3年度 95.28% 64.62% 54.80%

信州大学教育  
学部同窓会

### 第36回通常総会(通知)

コロナウイルス感染症の  
予防対策を十分にとりなが  
ら、昨年に引き続き第36回  
通常総会を開催します。

多数のご参集をお待ちし  
ています。

また、祝賀懇親会も予定  
しています。あわせてご参  
加いただきたくご案内いた  
します。

日 時  
令和5年8月11日(金・祝)  
午前9時30分

会 場  
「ホテル信濃路」  
(長野市岡田町)

- 内 容
- 議事  
令和4年度事業報告・  
決算報告、令和5年度事  
業計画案・予算案の審議  
他
  - 記念講演会  
11時00分～12時15分  
講師：平野 有海 氏
  - 祝賀懇親会 12時30分～  
会費：5,000円

※参加される方は、会報と同封した葉書によ  
りお知らせください。やむを得ず総会、懇  
親会を中止する時は電話でお知らせしま  
すので、電話番号を明記してください。

— 記念講演会 —  
演題 (仮)

## 天気予報ができるまで 〜テレビの裏側〜



気象予報士

平野 有海氏

### プロフィール

○出生地は千葉県。お父様 (元信州大学教育学部  
長、現信州大学副学長 平野吉直先生) の仕事  
の関係で日本全国各地に転居。中学3年から大  
学進学までは長野県で過ごす。

○信州大学教育学部附属長野中学校から佐久長聖  
高校を経て、早稲田大学に進学。高校卒業後  
に、早逝したお母様に、お亡くなりになる直前  
に語った、テレビの仕事をしたいという夢を叶  
えるべく努力を重ね、大学卒業後はテレビ静岡  
にアナウンサーとして入社する。

○2006年4月から勤めたテレビ静岡を、20  
14年3月に退社。以後2013年に取得した  
気象予報士として活躍する。

○2014年からは「ウェザーマップ」に所属。  
2015年3月30日から2017年3月31日ま  
でNHK総合テレビ『ニュースシブ5時』にて  
気象キャスターを、2017年4月から出産休  
暇をはさみ2021年12月まで、平日の『NHK  
ニュース7』の気象情報を担当する。2023年  
からはNHK国際放送局「NHK WORLD」に  
おいて英語で世界の気象を伝える仕事に従事。  
○気象予報士としてのテーマは「人を天害から、  
自然を人災から守ること」。

### △平野有海さんからのメッセージ▽

学生時代の思い出が詰まった信州大学教育学部で  
講演させていただけること、とても光栄に思ってい  
ます。近年、気候変動によって世界中で気象災害が  
激甚化する傾向にあります。日本や長野県も例外で  
はなく、2019年台風19号の被害は皆さんの記憶  
にも刻まれているかと思えます。自分や大切な人の  
命をどう守っていくのか、気象予報ができる過程や  
放送の裏側を紹介しながら、皆さんと一緒に考察で  
きれば幸いです。

### 事務局より

## ○柳沢京子さんの「きりえ展」 開催のお知らせ

同窓会員である、きり絵作家の柳沢京子さんの作  
品展を、今秋、同窓会赤煉瓦館で開催する計画を進  
めています。詳細が決まりましたらホームページで  
お知らせしますので、チェックをお願いいたします。  
「信州大学教育学部同窓会」で検索してください。

### ○教育実践補助申請受付中

教育実践補助申請を4月より受け付けています。  
詳細は同窓会ホームページをご覧ください。また、本  
号の6ページ「教育実践補助事業」も参考にしてく  
ださい。昨年度の助成受付の実践テーマなどが掲載  
されています。

### ○「支部、学科・コース等の同窓会活動支援事業」 について

同窓会活動を一層魅力あるものにしていくための  
一つとして「支部、学科・コー  
ス等の同窓会活動支援事業」を  
進めています。

それぞれの地区ことや、卒業  
学科・コース等の同窓会活動を  
支援することで、同窓会活動へ  
の関心を高め、会員相互の連帯  
を一層高めることを目的とし、  
その活動に対して、若干の補助  
をするというものです。

詳しくは、同窓会ホームペー  
ジの「事業紹介」のページをご  
覧ください。申請書、報告書の  
ダウンロードもできますので利  
用してください。

TEL 026-238-4370  
(月・水・金 9:30~16:00)  
HP <http://www.shinshu-u.ac.jp/group/education-almni/>  
Email [k62dousou@gmail.com](mailto:k62dousou@gmail.com)

事務局連絡先